

令和3年度第2回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和3年4月30日(金) 午後2時05分～午後3時23分
2. 会場 士別市役所 会議室201
3. 出席者
- | | | | |
|-------|---------|---------------|---------|
| 教育長 | 中 峰 寿 彰 | 生涯学習部長 | 三 上 正 洋 |
| 職務代理者 | 五十嵐 紀 子 | 学校教育課長 | 須 藤 友 章 |
| 委員 | 馬 場 千 晶 | 合宿の里・スポーツ推進課長 | |
| 委員 | 加 藤 洋 之 | | 坂 本 英 樹 |
| 委員 | 山 田 敦 久 | 社会教育課長 | 武 山 鉄 也 |

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

再び寒い日が続き、ゴールデンウィーク中は雪の予報もあって残念である。朝礼でも「GWは『我慢忘れず』との意味も」との話があった。その一方で、せめて外に出て過ごしてもらいたいとの思いもある。この会議直前に新型コロナウイルス感染の情報が入り、お待たせしてしまった。

前回9日の会議以降の動向として、延期されていた士別小の入学式が19日に挙行された。子どもたちは学校にも慣れていたので、とても元気な入学式になった。

旭川の私立高校で発生したクラスターは21人にまで拡大し、本市にも影響が及んでいる。その中で今回、保健所から初めて「低リスク者」との表現が示された。これまで「拡大検査」や「疫学検査」の対象者を指している。また、巷ではこれに加えて「準濃厚接触者」との表現もあるようだが、この言葉は正式に存在していないようであり、保健所にも確認した。修学旅行に参加している生徒が現地でPCR検査を受けるという極めて例外的な状況が発生したが、インフルエンザにり患した場合などは保護者が迎えに行き連れて帰るなどの対応となっており、新型コロナウイルス感染症も同様である。今回のケースについて、保健所からは「学校からの申し出」と言われたが、学校からそのような申し出は行っていない。どこかで情報が正しく伝わらなかったようである。連休明けに修学旅行に出発する学校もあり、家庭内感染も拡大している状況や、隠れ陽性（偽陰性）の存在などからも対策が必要である。ゴールデンウィーク期間中はスポーツ合宿の申込もあったが、札幌周辺の学校などはお断りした。

5月1日には、まちなか交流プラザのオープンや士別サムライブレイズの初戦が予定されている。本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第4号 令和3年度士別市教育推進の重点については毎年示しており、この後開催する総合教育会議、教育推進会議でも説明することとなる。内容について説明を求める。

○三上部長

本年は基本方針にコロナウイルス対策をキーポイントとして加えている。また、「地域力」「組織力」「人間力」を高め・生かすことが大きなキーワードである。詳細は各課長から説明する。

(別紙資料に基づき、担当課長から説明)

○五十嵐職務代理者

デジタル教科書の実証実験は、どこの学校で行うのか。

○須藤課長

小学校は土小・上小・多小の3校、中学校は上中・朝中の2校、合計5校で実施する。実証実験のため、実施する教科も調整している。土小は算数、上小は理科、多小は社会、上中は理科と公民、朝中は数学である。

○中峰教育長

全ての小中学校で実施できる想定だったがそうならなかった。児童・生徒については無償だが、指導する教員のライセンスや指導書は負担しなければならない。上士別では小中高の連携を行っており、小学校へ乗り入れすることを想定し理科を選択したようだ。

○加藤委員

旭川で発生した、「いじめの事案」が大きく報道されている。士別中ではPTA総会において保護者向けに「いじめ防止対策推進法」の資料を配布し、説明したそうだ。昨年からはネットリテラシーについて意見を述べてきた。子どもたちが学校の授業などでインターネットを使用する程度であれば問題ないが、スマホなどでSNSを利用する際には注意が必要である。保護者、教員だけでなく教育委員会も理解しておくべきで、事が起こる前に止める必要がある。コロナでコミュニケーションがとりづらい状況にあり、ツールを勘違いしてしまう恐れがある。特に中央の4校は心配だが、オール士別で学びを進めてもらいたい。

○山田委員

旭川の問題は大きく取り上げられているが、いじめが起きた時点で対応していれば、ここまで大きなことにならなかったのではないかと考える。

○加藤委員

少なくともいじめを把握できる状況にあることが、まずは必要。重大事案が起きた時に初期対応を間違ってしまったものとする。

○中峰教育長

上川教育局管内でもいじめ件数は増加傾向にあり、低年齢化しているとの分析である。各学校での取組状況を改めて確認する。また、いじめだけではなくLGBTなどについても対応を検討しなければならない。

○加藤委員

旭川の件が表に出たのはある意味で良いことだが、加害者の個人情報晒されるなどの行動は行き過ぎと感じている。

○山田委員

どこまで本当の事なのか分からない。話を盛られてしまう状況もあり、問題である。

○中峰教育長

今回の旭川の事案については、滋賀県大津市のいじめ事案の際の市教委等の対応のまずさとは全く違うもの。また、ゴシップ報道を面白おかしく書きたてている状況は、ある意味ことばの暴力であるとも感じる。

○山田委員

文化振興について、コロナ禍にあつて舞台関係の人々は厳しい状況にある。このままでは立ち行かなくなるのではないかと懸念している。ガイドラインとは別に独自の何かを作るのか。

○武山課長

サンライズホールや文化センターでは、地域の基準を基本としつつ、演目に合わせて様々な工夫をこ

らして可能な範囲で公演を行ってきている。

○山田委員

スポーツに比べると芸術関係のことは低く見られがちではないか。

○中峰教育長

東京などでは、小劇場等の公演で感染が広がったことにより、北海道にも余波が及んでいる。安全・安心の確保を前提条件にしなければならない。合唱については、全国的な団体によるガイドラインがあるが、詩吟などにはないようだ。指定管理を受けている舞藝舎にとっては、初年度からこの状況で厳しい部分も多かったが、人件費分などには対応できており、今後も可能な限り自主企画なども実施する方針である。

GIGAスクール構想のもと学校に整備した端末について、学校からリモート学習などに活用したいとの求めがある。しかし、どのように活用するのか詳細を確認する必要があると考えている。家族の発熱などにより出席停止となった児童生徒に対し、教室の状況を配信する場合に、クラス内で理解が得られるのかということもある。また、不登校の児童生徒に対しては、どのようにアプローチすべきか学校でも考えてもらいたい。土中では昨年試験的に授業を実施したが、まずは家庭の通信環境も確認したうえで、家庭の端末を使用してもらいたい。GIGAスクール構想で整備した端末の持ち帰りは、もう少し検討を重ねてからになる。

いじめ・不登校・体罰などについて、当初とは解釈が変わっている。いじめについては、本人がいじめと感じた場合はそう見なされるが、教師の認識が甘くないかとの声も全国的に上がっている状況もある。

○中峰教育長

議案第5号 士別市学校運営協議会委員の選任について説明を求める。

○武山課長

学校運営協議会の委員は一年任期であり、それぞれ15名以内で推薦いただいた。

○中峰教育長

土小の委員に士別農民連盟の沼館委員長が推薦されているが、この点について情報があればお知らせ願いたい。

○武山課長

農業学習でみのりの先生を配置できていないため依頼したと聞いている。

○中峰教育長

議案第6号 令和3年度地域コーディネーターの選任について説明を求める。

○武山課長

地域コーディネーターは地域と学校を繋ぐ役割を担うものである。委嘱するコーディネーターは3人だが、他の地区は別紙にあるとおり教育委員会職員がその職を担っている。

○中峰教育長

発令の仕方が異なるため別紙のとおり記載していると解していただきたい。

2 その他について

東京オリンピック・パラリンピックに向けた対応について

○坂本課長

オリンピック・パラリンピックに向けた庁内体制について、別紙のとおり検討している。取組項目は実施できるかどうかを検討するもの。受入体制は、他部署から6名に協力していただく。5月中旬には公表

し対応していきたい。

○中峰教育長

4月1日には方針として作成していたもの。受入体制に関しては、新たに辞令を交付しない。
市立学校職員等のPCR検査実施について

○須藤課長

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として予算がついた。教育委員会が一括購入したキットを各学校に配布し、各自で検体を採取して検査機関に郵送することになる。検査結果は登録したアドレスにメールで送信される。

○加藤委員

連休明けに検査できるのか。

○中峰教育長

いつ検査するのが有効か。連休明けから数日経過した辺りが良いのかと思う。ワクチンが接種されるまで一人あたり8回程度の検査を想定している。

宮城県白石市の学校で防球ネットの支柱が倒れ死傷者が出る事故があった。本市においても改めて確認するよう指示した。

文部科学省が作成した「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアル『学校の新しい生活様式』」が改訂され、本日、道から通知があった。新たに変異株の対策などが追加され、地域一斉の臨時休業は基本的に行わないことなどが記載されている。改めて三密の回避・マスクの着用・消毒の徹底を基本に取り組みを継続する。

当面する今後の日程について

三上部長説明。

午後3時23分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中峰 寿彰

会議録調整者

須藤 友章